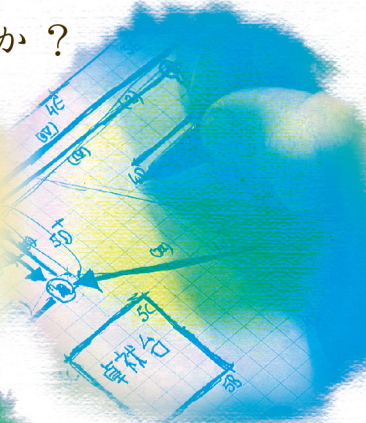


なぜ想田和弘はドキュメンタリーを撮るのか？



「観察映画」とは何か？



その全貌を



劇場初公開のリマスタリング版で一挙上映。

# 想田和弘と世界



上映作品 | 選挙 | 精神 | Peace | 演劇1

演劇2 | 選挙2 | 牡蠣工場 | 港町

監督・製作・撮影・編集: 想田和弘 | 製作: 柏木規与子 | 製作会社: Laboratory X, Inc | 配給: 東風

6月2日(土)～8日(金) | [シアター]イメージフォーラム

## 選挙

観察映画第1弾 | 120分 | 2007年 | **リマスタリング版初上映**  
米国ビーボディ賞、ベオグラード国際ドキュメンタリー映画祭・グランプリ受賞、ベルリン国際映画祭ほか正式招待

▶日本のどぶ板政治の典型とも言える市会議員選挙の舞台裏に密着したカメラは、最後まで近からず遠からず微妙な距離感を保ち続けて、見事にニッポンの根っ子を活写した。このダイレクトシネマは監督の想田和弘が、日本を離れアメリカに暮らした余所者の視点で最も日本的な集団と組織のあり方を見つめたが故に可能になったのであろう。そこにこの映画のユニークな新しさがあがる。

佐藤真——ドキュメンタリー映画監督/『阿賀に生きる』

## 精神

観察映画第2弾 | 135分 | 2008年 | **リマスタリング版初上映**  
釜山国際映画祭・最優秀ドキュメンタリー賞、ドバイ国際映画祭・最優秀ドキュメンタリー賞、香港国際映画祭・優秀ドキュメンタリー賞受賞、ベルリン国際映画祭ほか正式招待

▶進化するメディアを媒介にして二分化が進む。そのひとつが精神の正常と異常。その二分がいかにか空しいものであるかを、この作品は教えてくれる。狭間がいかにか豊かであるか、そしてその狭間こそが僕らが生きている領域であることを、しっかりと呈示してくれる。想田に言いたい。ありがとう。あなたはまた、世界をひとつ広げてくれた。

森達也——映画監督/作家

## Peace

観察映画番外編 | 75分 | 2010年 | **リマスタリング版初上映**  
東京フィルメックス・観客賞、香港国際映画祭・最優秀ドキュメンタリー賞、ニヨン国際映画祭・ブイエン&シャゴール賞受賞、韓国・非武装地帯ドキュメンタリー映画祭・オープニング作品

▶何も物語が生まれなれないと思込んでいる日常が、

鮮やかに立ち上がる瞬間。小さな世界、猫たちのルール、ゆるやかな変化と調和。不満と諦め、たまにきらめき。「平和」はいつもわたしたちの手の中にある。

今日マチ子——漫画家/『センネン画報』『みかこさん』

## 演劇1

観察映画第3弾 | 172分 | 2012年 | **リマスタリング版初上映**

## 演劇2

観察映画第4弾 | 170分 | 2012年 | **リマスタリング版初上映**  
ナント三大陸映画祭・若い審査員賞受賞、釜山国際映画祭ほか正式招待

▶たいへんに面白かった。何がどう面白かったのか、手持ちの映画批評の用語ではうまく表現できない。そういう種類の経験だった。この映画の「成功」（と言ってよいと思う）の理由は二つある。一つは「観察映画」という独特のドキュメンタリーの方法を貫いた想田和弘監督のクリエイターとしての破格であり、もう一つは素材に選ばれた平田オリザという世界的な戯曲家・演出家その人の破格である。この二つの「破格」が出会うことで「ケミストリー」が生み出された。二人がそれぞれのしきたりで発信している、微細な歪音がぶつかりあい、周波数を増幅し、倍音をつくり出し、ある種の「音楽」を作り出している。

内田樹——凱風館館長

## 選挙2

観察映画第5弾 | 149分 | 2013年 | **リマスタリング版初上映**  
シネマ・デュ・レエル、MoMAドキュメンタリー・フォートナイト、ドバイ国際映画祭、香港国際映画祭ほか正式招待

▶山さん、ストライクス・バック!!! いまだかつて、こんな「政治ドキュメンタリー」が、そしてこんな「反原発映画」があったのだろうか? と同時に、これは一種の「活劇映画」でもある。このヒーローならざるヒーロー

の、破天荒で孤独で悲喜こもごもの戦いを、われわれ観客は固唾を呑んで見守ることになる。

佐々木敦——批評家

## 牡蠣工場

観察映画第6弾 | 145分 | 2015年  
キナヨ映画祭・観客賞(最高賞)受賞、ロカルノ国際映画祭、ナント三大陸映画祭、バンクーバー国際映画祭、香港国際映画祭ほか正式招待

▶観察する「カメラ=身体」は記述の道具ではなく、偶然性を受け入れ、変化する現場の一部となるくらいダイナミックで生き生きとしている。

港千尋——写真家

▶映画で世界を変えるなんて、無理なことかもしれない。しかし想田和弘の映画は、「変わりゆく世界」の見方を教えてくれる。

オレリー・ゴデ——ロカルノ国際映画祭プログラマー

## 港町

観察映画第7弾 | 122分 | 2018年  
ベルリン国際映画祭、シネマ・デュ・レエル、香港国際映画祭ほか正式招待

▶人の営みというものを成り立たせている根幹のサイクルを、これでもかという丁寧さで「観察」してゆくカメラ……ミクロからマクロを浮き上がらせる視点の鋭さは相変わらず流石! というほかないが、今回の作品ほど、切り取られた「その時間」の絶対的なかけがえなさと、儚さを思い知らされたことはなかった。ほとんど神話的と言っていいような余韻を残す、これは間違いなく想田さんの新境地!

ライムスター宇多丸——ラッパー/ラジオパーソナリティ

(※コメントは敬称略、封切時のチラシ等より転載)



T I M E T A B L E | ★印の回は、上映終了後にトークショーを予定しています

6月2日(土) 13:00—牡蠣工場 16:00—港町★ 19:30—Peace	6月3日(日) 13:00—演劇1 16:25—演劇2★	6月4日(月) 13:00—精神 15:45—Peace 17:30—演劇1	6月5日(火) 13:00—港町 15:30—牡蠣工場 18:30—選挙	6月6日(水) 13:00—Peace 14:45—選挙 17:15—選挙2★	6月7日(木) 13:00—選挙2 16:00—精神 18:45—港町	6月8日(金) 13:00—Peace 14:45—牡蠣工場 17:40—港町★
---	------------------------------------	---	---	--	--	---

**「シアター」**  
**イメージフォーラム**  
[全席指定/入れ替え制]

JR 渋谷駅 出口  
ヒカリエ  
[シアター] イメージフォーラム

料金:当日一般1,500円 | 学生・シニア1,200円 | 会員1,100円  
(「港町」のみ当日一般1,800円)

渋谷駅より徒歩8分、宮坂坂上り、次の信号を右手入る  
Tel.03-5766-0114 www.imageforum.co.jp

観察映画第8弾 **ザ・ビッグハウス!**  
**6/9 Sat** より同館にてロードショー